

2025 年度の雇用動向に関する埼玉県企業の意識調査

正社員の採用予定がある企業は 2 年連続で減少

～大企業と中小企業、規模間で採用意向に大きな差～

企業の人手不足は、新型コロナウイルスの感染拡大で一時的に緩和された。しかし、経済活動が本格的に再開されてからは急速に人手不足感が高まり、2024 年 10 月の調査で正社員が不足していると回答した埼玉県企業は 49.6%に上った。10 月調査として過去最高だった 2023 年時の 50.8%を若干下回ったものの、依然として人手不足が大きな経営課題になっており、初任給の引き上げをはじめ賃金改善を進めるなど、人手を確保するため企業は様々な取り組みを進めている。

そこで、帝国データバンク大宮支店は、2025 年度の雇用動向に関する埼玉県企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2025 年 2 月調査とともにを行った。



※ 調査期間は 2025 年 2 月 14 日～28 日、調査対象は埼玉県 1009 社で有効回答企業は 421 社 (回答率 41.7%)。なお、雇用動向に関する調査は 2005 年 2 月から毎年実施し、今回で 21 回目

調査結果 (要旨)

- 2025 年度、正社員の『採用予定がある』割合は 57.2%。前回調査から 0.8 ポイント減少し、2 年連続で減少
- 正社員の『採用予定がある企業』、大企業は 83.3%で平均を大きく上回るも、中小企業は 53.9%にとどまり、規模間で大きな差
- 2025 年度、非正社員の『採用予定がある』割合は 49.9%で前回調査から 2.0 ポイント減少

1. 2025 年度に正社員の『採用予定がある』割合は 57.2%、2 年連続で減少

2025 年度（2025 年 4 月～2026 年 3 月入社）の正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）と考えている企業は前回調査

（58.0%、2024 年 2 月実施）から 0.8 ポイント減の 57.2%となった。新型コロナの影響が大きかった 2021 年度には前年度から 8.3 ポイント減となる 50.0%に大きく低下し、そこから 2 年連続で増加していたが、2024 年度（58.0%）に減少に転じてから 2 年連続の減少となった。また、採用予定がある企業の内訳は、採用人数が「増加する」企業が前回調査から 3.0 ポイント減の 20.0%だった。

他方、『採用予定はない』は、前回調査の 30.6%から 1.4 ポイント減の 29.2%となり、2 年ぶりに減少した。

『採用予定がある』企業からは、「人材が採用しやすい時こそ、将来の為に増員しておきたい」（製造）や、「専門性の高い仕事を増やすため新たな人材は必要となる」（不動産）といった声が聞かれた。

■正社員採用

他方、『採用予定はない』企業からは、「売り上げが思うように上がらないのに賃上げ傾向があるため、なかなか新しい人材を入れたくても入れられない」（製造）や「設備投資により、人の手を介さない業務が増えたので直近での採用は特に予定なし」（小売）、「金利上昇等、経営環境悪化で正社員採用はリスクが大きく採用する気になれない」（サービス）といった声も聞かれた。

	正社員採用 (%)					
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない
2005年度	72.3	26.8	38.4	7.0	22.6	5.2
2006年度	66.4	27.1	33.3	5.9	26.5	7.1
2007年度	68.2	26.8	33.6	7.7	22.0	9.8
2008年度	59.3	21.5	29.7	8.2	34.5	6.2
2009年度	41.1	12.4	18.2	10.5	48.7	10.3
2010年度	37.2	11.7	16.8	8.7	50.0	12.8
2011年度	44.1	17.3	19.5	7.3	46.2	9.7
2012年度	48.8	20.3	20.8	7.7	43.3	7.9
2013年度	53.8	21.4	23.6	8.8	37.9	8.3
2014年度	58.3	26.9	26.1	5.3	30.8	10.9
2015年度	64.2	25.9	31.8	6.4	25.9	9.9
2016年度	64.2	28.1	27.3	8.8	25.5	10.3
2017年度	64.3	27.1	28.4	8.9	25.8	9.9
2018年度	66.1	26.6	30.5	8.9	24.2	9.7
2019年度	62.4	19.5	34.0	8.9	26.5	11.1
2020年度	58.3	19.4	28.9	10.0	29.4	12.4
2021年度	50.0	17.1	23.3	9.6	36.5	13.5
2022年度	59.7	24.5	29.3	5.9	31.1	9.2
2023年度	63.8	26.2	30.7	6.8	27.8	8.4
2024年度	58.0	23.0	28.6	6.4	30.6	11.4
2025年度	57.2	20.0	29.7	7.6	29.2	13.5

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

2. 正社員採用がある割合、規模間格差が鮮明に

規模別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、「大企業」は83.3%と全体（57.2%）を大幅に上回った。一方で、「中小企業」は53.9%、うち「小規模企業」は32.1%となり、企業規模が小さいほど割合が低くなる傾向がみられ、規模間の差が鮮明にみられる結果となった。

また、業界別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、「2024年問題」に直面している『運輸・倉庫』が70.6%で最も高かった。次いで高かったのは『サービス』の65.2%、『製造』が61.1%で続いた。

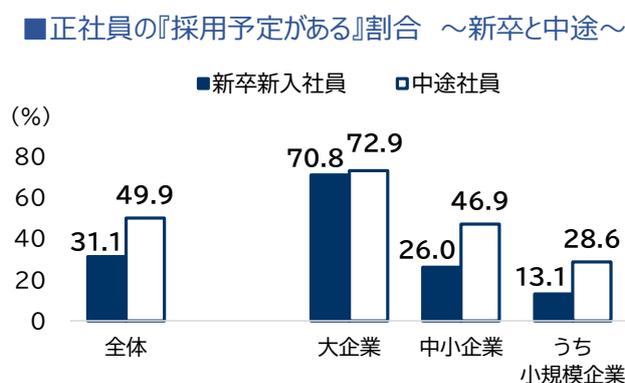


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

3. 正社員採用予定、新卒新入社員は31.1%、中途社員は49.9%

2025年度の正社員の採用状況を採用形態別に尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）割合は、「新卒新入社員」で31.1%、「中途社員」で49.9%となった。

規模別に「新卒新入社員」と「中途社員」それぞれの『採用予定がある』割合をみると、「中小企業」では「新卒新入社員」



が 26.0%だったのに対し、「中途社員」は 20 ポイント以上高い 46.9%となった。企業からは「若い世代は簡単に退職するようになってしまった。そのため、新卒採用をやめて中途採用に切り替えた」（サービス）や「優秀な人材は大企業に取られていく。中小零細企業は大企業並みの賃上げが難しく中途採用が一般的になっている今、どこまで頑張れるか金銭体力勝負となる」（不動産）など、若手従業員の転職リスクや大企業に比べて新卒採用が難しい中小企業の実状を訴える声が聞かれた。

4. 非正社員『採用予定がある』割合は 49.9%、前年度から 2.0 ポイント低下

2025 年度の非正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）企業は前年度比 2.0 ポイント減の 49.9%となった。コロナ禍で経済が停滞していた 2021 年度に 34.4%まで落ち込み、そこから 3 年連続で増加していたが、2025 年度は 4 年ぶりに減少に転じた。

一方、『採用予定はない』企業は前回調査から 0.8 ポイント増の 35.6%となり、2 年ぶりに増加した。

■非正社員採用

『採用予定がある』企業からは、「日本人のアルバイトや、パートの採用を増やしたいが、応募が集まらない。なので、外国人の留学生などのアルバイトを採用する予定です」（小売）といった声のほか、「採用したい人がいない。技能実習生を増やすことも視野に入れている」（製造）など、採用が難しくなっている様子もうかがえた。

	非正社員採用 (%)					
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない
2005年度	73.5	19.2	48.5	5.8	18.3	8.2
2006年度	62.2	17.4	39.2	5.6	26.8	10.9
2007年度	64.9	19.6	38.4	6.8	24.1	11.0
2008年度	48.6	12.1	26.3	10.2	40.1	11.3
2009年度	30.8	6.3	12.1	12.4	58.2	11.1
2010年度	28.8	6.0	15.8	7.1	59.2	12.0
2011年度	36.5	11.4	17.3	7.8	51.4	12.2
2012年度	39.7	10.4	24.1	5.2	47.7	12.6
2013年度	43.3	10.8	26.2	6.3	45.3	11.4
2014年度	53.2	16.8	31.9	4.5	34.5	12.3
2015年度	54.8	16.6	31.6	6.7	33.7	11.5
2016年度	51.3	14.4	30.4	6.4	37.6	11.1
2017年度	53.6	19.3	28.4	6.0	33.9	12.5
2018年度	57.4	18.2	32.9	6.3	32.9	9.7
2019年度	52.9	11.7	33.1	8.1	34.8	12.3
2020年度	45.9	13.6	24.3	8.0	39.3	14.8
2021年度	34.4	8.4	21.9	4.1	49.5	16.1
2022年度	48.7	13.7	29.3	5.7	38.2	13.0
2023年度	49.3	14.2	29.7	5.5	39.4	11.3
2024年度	51.9	14.8	31.6	5.4	34.8	13.3
2025年度	49.9	13.8	30.2	5.9	35.6	14.5

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

5. 非正社員採用予定、正社員の採用意向とともに運輸・倉庫が最多

規模別に非正社員の『採用予定がある』割合をみると、正社員と同様に企業規模が小さいほど割合が低くなっている。

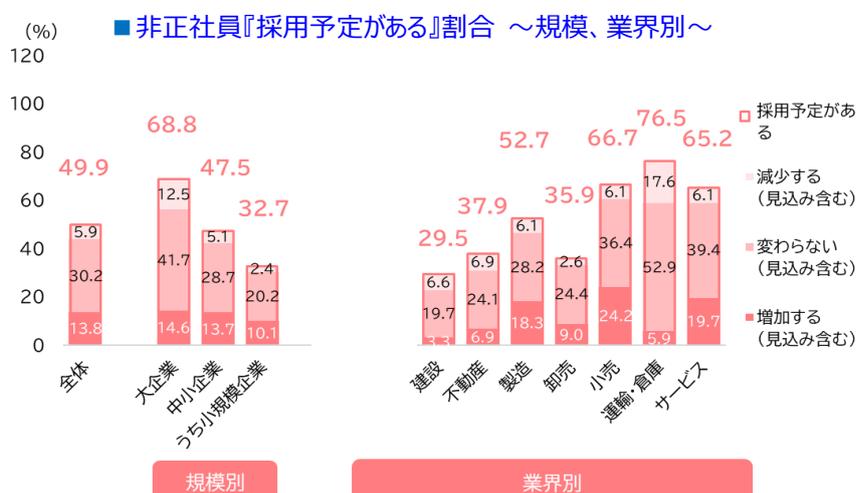
業界別では、『運輸・倉庫』が76.5%で最も高く、『小売』(66.7%)、『サービス』(65.2%)が6割台で続いた。

企業からは、「非正社員の人材が大変不足しているが、地域性もあるのか、求人の反応が極めて悪い」(小売業)といった、非正社員においても人材確保に苦戦している声が聞かれた。

まとめ

本調査では、2025年度における正社員の雇用動向について、『採用予定がある』企業は57.2%となり、2年連続で減少した。非正社員においても『採用予定がある』は49.9%となり前回調査から減少し、正社員・非正社員とも企業の採用意欲は前年度から後退する結果となった。また、採用予定のある企業を規模別にみると、大企業が全体平均を大きく上回る一方で、中小企業や小規模企業は採用予定のある企業が少なく、規模間で大きな差が表れる形となった。

帝国データバンク大宮支店が実施した調査では、2024年10月時点で正社員が不足している企業の割合は49.6%と高水準が続き、人手不足が企業にとって大きな課題になっている様子が見えがえた。このため、企業は初任給の引き上げや賃上げ実施により、従業員の抱え込みに取り組んでいるが、今年度の採用については正社員、非正社員ともに採用予定のある企業は減少した。そこには、新たに従業員を採用して教育するよりも、既存のスキルある従業員の退職を防ぐ方を優先する企業の考え方や、先行きの景気が不透明感を増すなか採用を抑える傾向があるようだ。中小企業においては、深刻な人手不足の状況下で採用意向はあるものの、経営状態が厳しく、賃上げの流れで上昇していく人件費の原資を確保できず採用を控えざるを得ない企業は少なくない。労働人口の7割を占め、日本経済を下支えする中小企業での人材確保はますます困難になりそうだ。今後は業務効率化や省人化への対応の必要性がますます高まるとともに、多岐にわたる国のサポートも求められよう。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

〈参考〉企業からのコメント

- 人員を増やそうにも未経験者だと指導する要員が必要になり人手不足のなか、なかなか増加傾向とはならない（製造）

- 正社員は求人しても応募が来ない状況（建設）

- 流動性が高くなっているので、まずは自社にとどまるよう物理的だけでなく感情や情緒的にも職場環境を整備していくことが以前より必要になってきている（小売）

- 大手の賃金に比べて中小企業はなかなか上げづらく、大手に及ばない（小売）

- 我々規模の会社に新卒は入ってこない。最初からあきらめています。中途も年齢に幅を持たせるも、なかなか採用できない状態が続いている（製造）

- 金利上昇等、経営環境悪化で正社員採用はリスクが大きく、採用する気になれない（サービス）

- 売り上げが思うように上がらないのに賃上げ傾向があるため、なかなか新しい人材を入れたくても入れられない（製造）

株式会社帝国データバンク 大宮支店情報部

【問い合わせ先】 丸山、梅林

TEL 048-643-2080 FAX 048-645-7578

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。